

国際ロータリー第2500地区第6分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



2016-2017年度  
帯広東ロータリークラブ

会 長 高 田 進  
幹 事 石 川 博 機  
メディア委員長 上野 敏 郎

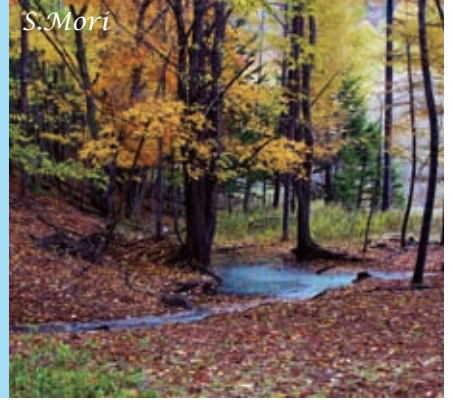
「活：かつ」

第1543回例会

平成28年11月15日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30  
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広

S.Mori



2016-2017年度 国際ロータリーテーマ  
**【人類に奉仕するロータリー】**  
2016-2017年度国際ロータリー会長  
ジョンF・ジャーム

ガバナーテーマ  
**【ロータリーの明日の為に、積極的に行動しよう】**  
国際ロータリー第2500地区 ガバナー  
駒形曙美

月間テーマ  
**【ロータリー財団月間】**

- ◎起 立 加藤雄樹 SAA
- ◎友情の握手 加藤雄樹 SAA
- ◎点 鐘 高田進 会長
- ◎開 会 宣 言 加藤雄樹 SAA

ロータリーソング 「我等の生業」  
◎ゲスト紹介 「いまいる。プロジェクト」  
実行委員長 似内幸成 様

◎会 食

会長挨拶

高田進 会長



皆さん、こんにちは。  
上野年度から引き継いで、5カ月目に入りました。ここまで入院等もあり、充分責任を果たせず過ぎて来たこと、また会員方々のご協力により運営できている事に改めて感謝する次第です。

理事会では、恒例の年末家族会や新年交礼会の予定打ち合わせ等、すでに予定は後半戦となり、過ぎた時間が、早く感じます。未経験の立ち位置で先を考えると長く、重く感じますが、出来れば楽しんでみたいとも、思ったりしています。

私は、40歳から65歳までの25年間公衆浴場(銭湯)を経営しましたが、この間、概算ですが延べ、250万人以上の方が入浴に来られたと思います。一見すごい数のようですが一日平均では、約300人です。開店から数年は、平日500人日曜、祭日は700～1000人以上の事もありました。しかし、廃業時は平日200人以下になってしまいました。ただ開業時は、入浴料260円が最後は420円へ上がっていました。借入もなくなり、公的な性格の業種の為、税の減免もあり、主な経費は18名全員パートですが、人件費と水道光熱費で、自分の労力を含めても、生活費確保程度まで下がり、先へ

の不安もあり、併業していた、不動産賃貸一本に絞りました。これで時間と体力労働から解放されました。

世間に迷惑をかけない様に廃業するという事は、業種にもよりますが、非常に体力がいります。精神面と金銭的な面で、退職金や、店舗の取壊し、跡地利用、法的な手続きが主で大きいのしかかります。従って、廃業は判断時期を間違えると大変で緻密な計画と決断が重要になります。初期投資が多額の業種なので、スタートも大変ですが、後片付けも大変な業種です。

しかし、25年やって、非常に良かったと思われる10年、まあまあやってよかった10年、ほぼやっただけの5年と、おおざっぱにいうとこんな感じかなと思ってます。

この間、時間に追われれば休みなく、故障とトラブルに見舞われ、多くの従業員と連係・協力し、運よく大病や事故もなく何とかやってきました。そして、何より多くの浅いけど広く多くの入浴客との出会いもありました。

以前は18年会社勤めでしたが、独立し、莫大な借金でスタートすると、あとは、自分の為家族の為、借金返済と分かりやすい構図で頑張る以外の何物でもありません。私の場合、思い切って環境を変えた事が良かったと思っています。

やめて3年、ライフスタイルも変わり、1日の時間の使い方や短期的な計画と実行、今まで思っても出来なかった事等、良い面ばかりではないのですが、大きく変わりました。今では廃業のタイミングとしては良かったと思っています。

印象的に記憶にあるのは、昼の2時頃、何か店が静かに感じたら、カウンターから「社長お客さんが1時間以上一人も来ません。こんなこと初めてです。」と。そのような時期も最後の方にはありました。

少し長くなりましたが、会長挨拶とします。

## 会務報告

石川博機 幹事

◎帯広東RC 11月29日(火)は休会と致します。

◎帯広東RC 年次総会開催のご案内

日時：平成28年12月6日(火)

午後0時30分(例会時)

場所：ホテル日航ノースランド帯広

多数の方の参加をお願いいたします。

## 委員会報告 青少年・ローターアクト委員会 池田 誠 委員長

11月24日木曜日7時30分からローターアクトプランの方で11月の第2例会がごさいます。内容としましては帯広市社会福祉協議会の方をお招きし「高齢者の身体能力低下を疑似体験用具等を使用し疑似体験を通して相互理解をは



かる体験プログラム」ということで多くのロータリアンの方に参加していただきたいということでございましたのでご連絡申し上げます。ぜひ参加してみたいという方がいらっしゃいましたら私の方までご連絡していただきたいと思っております。

あともう1点、内容がメールで来て詳しくは分かりませんが、第1回の日本ライラセミナーということで案内が来ております。2017年3月24日から26日までということで応募資格20歳から30歳までということで愛知県豊田市のほうで3日間の予定で第1回日本ライラセミナーを開催するというご案内が来ておりましたのでご報告だけさせていただきます。

以上です、ありがとうございました。

## ニコニコ献金

親睦活動委員会 深澤佳世子 委員

- **高田会長** きのう、今日とあたたかい日になり雪もおおむねとけましたのでニコニコします。
- **石川幹事** 今期の私のゴルフラウンド終了しました1年に感謝!
- **金尾会員** 先週奈良、京都に行ってきました。
- **板倉会員** 秋の高野山に行ってきました。
- **西藤会員** 前期の会費が完納されました。ご協力ありがとうございます。尚、ニコニコはあと2フンバリです。どうぞよろしく。
- **大塚会員** 今年の農業は多事多難な1年でした。今年の勤労と来る年の豊作を願って。
- **齊藤会員** まずはニコニコ!!
- **上野会員** 小学6年の孫が、小学校生活最後のバスケットの試合でやっとシュートを決めました。ニコニコします。
- **古川会員** 年末家族会の準備中です。近日中に案内が届きますので、奥様・ご家族・お孫様の多数のご参加をよろしく!
- **池田会員** 本日は青少年奉仕・ローターアクト委員会担当です。よろしくお祈りします。



## 出席報告

出席・プログラム委員会 宮前 克則 委員長

1541回11月1日	本クラブ出席者	26名
	メイキャップ	2名
	出席率	82.4%
1543回11月15日	本クラブの出席21名でございます。	

## プログラム

青少年・ローターアクト委員会

### [ゲスト卓話]

## 「いまいる。プロジェクト」

実行委員長 似内幸成 様

「いまいる。プロジェクト」。いまいる支援が必要な子ども達がいまいるということ。いまいるということで名前を付けさせていただきました。

震災で大きな被害受けました岩手県大槌町の中学生を中心にご賛同いただいた方々と共に自分たちが被災復興に何か出来るかを一緒に考えながらスポーツを通じて交流を深めながら行動しています。

大槌町は三陸沿岸にある漁業の町で、町の75%が被災にあいました。1万4、5千人くらいの人口がいましたが

2千数百名の方が亡くなっています。今、町中が工事現場で、三陸沿岸の町ではどこもそうですが数メートル盛り上げて高く盛り上げて、そこに新しい道路を作り町を作っていく作業が今行われている最中です。

私達は2013年に「いまいる。」を立ち上げました。立ち上げの経緯とか大会までの準備のことにしましては、時間がいくらあっても足りません。本当はその部分を一番皆さんにお話したかったのですが、本当に死ぬおもいで立ち上げました。

立ち上げ総会の模様です。各学校の野球部の父母の皆さんや教職員の皆さん、役場の若手の有志20名ほどが立ち上げメンバーになっています。

第1回目の交歓野球大会が8月に音更町で行われ、その時に参加した中学生です。ピンクのTシャツを着てるのが実行委員で総勢だいたい100名くらいの学生が参加しております。

大槌の中学生でこの当時のキャプテンの岩間君です。現在高校3年生で後から出てきますので覚えておいて下さい。最終日前日に音更町の集団研修施設で中学生みんなが、そこで揃って枕を並べて寝泊まりし野外でバーベキューをしました。小学校の跡地なので体育館もあり、そこでいろいろなレクリエーション等も行いました。

2年目ですが、野球大会と同時に大槌中学校の生徒会の子ども達が、自分の口で自分の言葉で、震災の規模や今の大槌の中学生が前向きに頑張っていく、という言葉を通じて直接話しをしたいということで、野球部と生徒会の方に来て、音更町の文化センターで語り部の会を開催しました。昨年までの3年間野球大会をしました。

今年は、大槌町の小中学校の一貫教育に変わり、大槌学園と名前が変わりまして新校舎がやっと完成しました。小中一貫となり忙しいと思い、今年の野球大会についてはこちらから今の高校3年生の子ども達を引き連れて大槌の方に行きました。9月の3連休にいったのですが秋祭をしました。その頃新校舎への引っ越しの最中で、電子黒板というのがあり黒板の中にコンピューターが内蔵されてるような黒板でした。非常に重たい物でそれを数10台、連れて行った子ども達が全部教室まで運び上げ大変喜ばれました。

先ほど紹介した岩間君からのお手紙です。彼は釜石高校という大槌に隣接しています、その高校が今年の春の選抜高校野球に21世紀枠で出場し、岩間君はエースピッチャーで甲子園に出場しました。そのほかに大槌から2名、合計3名甲子園にいきました。見事1回戦は勝ちました、2回戦は負けたのですが、甲子園が終わったら感謝の手紙をいただきました。3年前の音更での体験が自分に限らず参加した子ども達全員が大きな力になっております。という内容の手紙と甲子園グッズも沢山送っていただき私も非常に嬉しかったということでもあります。

これからも子ども達への支援は続けて行きたいと思っております。

来年以降につきましても段々時が経つにつれて本当に何が子ども達に必要なものかということを考えながら細く長く付き合っていきたいという向こうの教育関係者の言葉もありますので活動をやって行きたいと思っております。

◎開会宣言

加藤 雄樹 S A A

◎点 鐘

高田 進 会 長

## 次週プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

11月22日(火) 「情報集会報告」